

協議事項

【議題2】市川三郷町地域公共交通計画（案）について

パブリックコメントの実施結果を含め、前回の交通計画（素案）を修正した交通計画の案（資料2-1）および概要版（資料2-2）となります。

1. 交通計画素案からの修正・変更箇所について

①6ページの「公共交通の概要」①鉄道の図について

前回の交通会議で、利用者数の減少の質問をいただいております。

『令和5年度と令和6年度の各駅の利用者数が大きく減少した理由』

【JR東海の回答】

身延線の各駅の利用者数がデータ上、減少しているのは、ワンマン化の拡大により、切符の発券数が減少したため。

【集計方法】

無人駅の利用人数の集計は、実際の乗降人数を集計しているわけではなく、駅名が記載されている切符の発券数などから集計している。

ワンマン運行の場合、従来のように車内で車掌が切符の発券をせず、整理券と現金で支払いをしているが、現金支払いの人は今回の利用者数の集計人数に含まれていない。

【回答まとめ】

ワンマン運行の車両が増えて従来の普通列車の本数が減少したため、車内車掌による切符の発券数が少なくなり、その分の集計が含まれなくなった。

鉄道の利用者数のグラフの表を1年間の利用者数を1日当たりの利用者数に変更しました。また、これまでは市川大門駅の切符販売所の関係もあり、定期券利用者を除いた人数で示していましたが、定期券利用者数を含んだ人数のグラフに変更しました。

②13ページの目指す姿⑤の評価指標について

「公共交通の利用者数」について、①のグラフ修正に伴い、身延線の定期券等利用者数を含んだ数字に変更しました。

③14ページ上部のネットワーク図について

六郷線の延伸見直しに係る部分について、フィーダー補助の申請をすることを見越して補助対象の表記を追加しました。

④15ページ上段の各路線の必要性について

各路線の役割や必要性について、文言を追記しました。

⑤ 21 ページの事業 2 - 3 について

実施スケジュールを変更しました。合わせて 28 ページの実施スケジュールも変更しました。

実証に関しては、議事 4 で説明します。

⑥ 34 ページの用語解説について

計画書内に出てくる用語の説明を追記しました。

※今後、見直しや事業実施の詳細が決まりましたら、都度改正を行う方向です。